

# 京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名： 京丹後市

## 1. 平成29年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	京丹後市では普通交付税等の合併算定替による特例措置額が平成27年度から段階的に削減され、平成32年度には、約16億円の歳入が減少する（平成29年度算定ベース）ことが見込まれる。		
	必要性	合併特例措置の逡減に加え、税収の大幅な増収が見込めない厳しい財政状況であっても、限られた財源で市民満足度の更なる向上を図るとともに、持続可能な行財政運営を行うために、事務事業の効率化や職員定員の適正化、公共施設の見直しなど、歳出規模の抑制につなげる行財政改革を引き続き行う必要がある。		
	概要	第3次行財政改革推進計画等に基づき、平成27～31年度までの5か年において、本計画による業務改革・組織改革・投資改革の取組を実施することにより、一層の行財政改革を推進する。また、これらの取組により、各種財政指標の改善を図る。		
	効果	本計画の推進により、市民本位・市民起点の行政サービスの向上が期待できるとともに、効率的・効果的で持続可能な行財政運営を推進することができる。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
広域連携事業支援	公共交通利用促進事業	65歳以上の高齢者が京都丹後鉄道を利用する場合に、片道運賃の上限を200円とすることで、安価で便利な公共交通としての利用促進を図った。	利用者数：19,401人 （前年比 2.7%増）	9,431千円
	異業種交流展示会合同出展事業	中京圏に企業誘致開拓員を置く舞鶴市と連携し、国内最大級の異業種交流展示会であるメッセナゴヤに共同出展し、企業誘致PR活動等を実施し近畿圏外での知名度を図った。	名刺交換社数：32社 出展ブースへの来訪学生数：28名	233千円
	丹後地域特産品販路開拓事業	丹後地域における2市1町が連携し、都市部での特産品等の販売及び情報・魅力発信事業を展開した。	購入者数：23,023人 （前年度比2,357人減） 販売実績：20,834千円 （前年度比：334千円増）	872千円

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。